

大山崎町教育委員会議事録

—令和5年 教育委員会7月定例会—

大山崎町教育委員会

令和5年 教育委員会7月定例会 議事録

1. 日 時 令和5年7月25日(火)

開会 午前10時 閉会 午前10時38分

2. 場 所 大山崎町役場 3階 防災会議室

3. 議 事

日程第1 前回会議録の承認について

日程第2 諸報告について

日程第3 その他

4. 出席委員

教 育 長 馬 場 信 行

教育長職務代理者 吉 川 栄 一

委 員 南 顕 融

委 員 宮 本 佳 子

委 員 湊 田 瑞 希

5. 欠席委員

なし

6. 事務局

教育次長、学校教育課長、生涯学習課長兼文化芸術課係リーダー、生涯学習課担当課長兼中央公民館長、生涯学習課参事兼歴史資料館長、学校教育課主幹兼学校教育係リーダー(書記)、生涯学習課生涯学習課生涯学習・スポーツ振興係リーダー、体育館館長

7. 傍聴者

なし

会 議 内 容

教育長

おはようございます。

委員の皆様には、大変暑い中、定例会にご出席賜りまして、ありがとうございます。

また、日頃より本町の教育活動にご指導ご尽力賜りまして、重ねて御礼申し上げます。

季節も今は大暑ということで、今日の京都の天気予報では 36 度になるという予測でした。

子どもたちも夏休みに入って、学校も静かになったと思っておりましたら、今朝、学童に通う子どもたちが役場の前を通っておりました。

子どもたちも夏休みではありますが、元気に過ごしていることと思います。

それではただ今から、令和 5 年大山崎町教育委員会 7 月定例会を開会いたします。

本日の議事日程は、お手元に配布いたしましたとおりです。

では、日程に入ります。

日程第 1、前回会議録の承認についてを議題といたします。

前回の会議録につきましては、既に各委員に署名をいただいておりますので、承認することといたします。

日程第 2、諸報告を行います。

まず、私から報告いたします。

【教育長諸報告事項について説明（資料のとおり）】

次に、各所管課分の報告をお願いいたします。

事務局

【学校教育課事業について説明（資料のとおり）】

事務局

【生涯学習課事業（生涯学習・スポーツ振興係、文化芸術係、中央公民館、歴史資料館、大山崎町体育館）について説明（資料のとおり）】

教育長

ありがとうございました。

ただ今の報告で、委員の皆様から質疑等がございましたらご発言ください。

委員 天王山カップ少年少女フェンシング大会の開催日はいつですか。12月23日ですか。

事務局 12月24日でご提案しましたが、昨日この日が佐賀県で行われる全国のフェンシング大会開催日であることが判明し、大会運営にご協力いただくフェンシング協会の方々が全国大会の運営にもご協力されるのか等確認したうえで、再度日程については協議する予定です。

委員 12月24日以外になる可能性もあるのでしょうか。

事務局 はい。昨日の会議においては、日時は決定できませんでした。

委員 中央公民館の8月の予定で、8月2日からの夏の自習室と8月11日からの子どもの自習室は、何か違いがあるのでしょうか。

事務局 8月2日からは、誰でも参加できる大人の自習室で、11日からは、従前から実施しておりました中学生までを対象とした子どもの自習室です。

委員 部屋を開放するだけですか。人が配置されるのですか。

事務局 ときめき自習室につきましては、有償ボランティア2名を配置して、事前に登録された参加児童の入退室管理や自習の見守り等を行っていただきます。それと従前の部屋を開放するのみの自習室とを実施します。2つの取組の状況を見ながら、今後の事業の実施方法について検討してまいります。

教育長 質疑もないようですので、これで諸報告を終了します。

次に、日程第3、その他を議題とします。

まず、事務局から、その他報告事項があるようですので、説明をお願いします。

事務局 8月28日実施の学校給食試食会についてご報告いたします。

開催について周知して以降、申し込みの締切を待たずに定員に達しました。今後実施に向けて準備を進めてまいります。

教育長 ありがとうございます。

ただ今の報告等で各委員からの質疑等はございますか。

委員 フォームからの申し込みで、定員になった時点で締切ということは、それ以降の参加希望者の数が把握できていないのではないですか。

 総応募者数を把握したうえで、定員より応募が多いようなら、もう1回開催するなどの配慮があってもよかったですのではないですか。

事務局 この試食会は個別に予算化されているものではなく、給食調理等業務委託をしている事業所との契約の中で試食会を実施することにしており、元々3月に実施する予定が8月になったものでございます。今回は中学校給食のお披露目の意味合いでの実施であることをご理解いただきますようお願いいたします。

 ただし、申し込みのあった先着100名の方にはアンケートを実施し、今後に繋げていきたいと考えております。

教育長 応募総数は把握できないのですか。

事務局 体育館の予約システムと同じで、定員に達するとそれ以降の応募は受付できないため、総数は把握できません。

教育長 最後に何かありましたら、ご発言お願いいたします。

委員 小学校についてですが、1点目は、小学校のプールの補習がなかった理由、2点目は、運動会の午前開催の理由を教えてくださいませんか。

事務局 プールの補習の件は、確認して後日回答します。

 運動会の半日開催については、学校でカリキュラムを考えて半日開催か1日開催か決定します。そのため、学校によってバランスよくプログラムを考えて半日で実施するものと認識しています。

委員 この件について、校長先生にお尋ねしたところ、3つの理由を言われました。1つ目は、周辺の学校にあわせています。

 2つ目は、日頃のカリキュラムが多く練習時間の確保や練習に時間が割けないため、子どもたちが練習の成果を親にみせられない状況です。

 3つ目は、最近慣例になってきています。

 1年の中で運動会は大きな行事と認識しています。学習面が苦手な子も運動会でなら頑張れるといった位置づけで考えています。周辺の学校に合わせなければならぬ明確な理由はお答えいただけいていません。

 学習内容が多く練習時間が確保できないのはわかりますが、何が大切なのか考えてほしいと思っています。

 最近の慣例もコロナ禍によるもので、コロナ禍の制限がなくなった中で、私

は後ろ向きな姿勢だと感じています。半日開催が1日開催に戻る時の理由をお聞きしても、国の指針が変わらない限り難しいとの1点張りです。学校の判断、学校ごとには理解しますが、町として、教育長はじめこの件についての考えを教えてくださいませんか。

事務局 学校管理下で行われるものは、一定学校の考えが尊重されるべきであると考えています。カリキュラムが多く、授業時間の確保は喫緊の課題であります。時間を切り詰めて授業時間を確保している中で、運動会の練習に時間を割けられないのが正直な気持ちだと思います。30年前なら、半日などを運動会の練習にあてることができましたが、今はまったく難しいのが現状だと思います。

教育長 子どもたちや保護者の願いはあるのですが、本当に今はカリキュラムの確保が大変であります。文部科学省の通達があれば別ですが、教育委員会が学校行事について指導することは難しいのが実情であり、学校長の判断を尊重していきたいと考えています。

委員 小学校の学校訪問をした時に、先生たちはフルに働いておられると感じました。ベテランの先生はゆったりと授業をされているが、経験の浅い先生は、子どもたちをゆっくり見つめてあげる余裕がなく授業を進められていると感じた中で、専門的な教科の講師を雇用することが予算的に可能であるならば、先生の空き時間ができ、加配の先生に頼るのではなく担任が受け持つ児童全てを把握することが可能になるのではないかと思います。

これにより、よりよい教育で先生たちの負担も少し軽減できると思いますし、今のままだと先生は身体も心も潰してしまうのではないかと感じています。

事務局 町費で講師を雇用とのお話でしたが、このような案件の解決策としては、教科担任制の導入だと思います。中学校は教科担任制ですが、小学校でもその必要性が検討されています。もう一つは、先生がする仕事とそうでない仕事を切り分け、先生が本来向きあうべき内容に向き合えるようにすることだと思います。

教育長 現在、町単費の講師雇用の方は何名ですか。

事務局 1名です。（小学校に正規雇用の栄養職員1名が別途配置。）

教育長 中学校の35人学級で講師1名を雇用しており、中学校の35人学級も近隣では珍しく、また各学校全てに栄養教諭（栄養職員）の配置があるのも珍しい状況です。

予算を確保し雇用の継続をしたいと考えていますが、府採用の講師も不足している状況であり、講師を確保すること自体も課題であります。

委員

このカリキュラムや働き方の問題は、大山崎町の問題ではなく国の問題であります。

学校訪問に行って、私は早く教師を辞めてよかったと感じています。

今の先生は、目の前の課題をこなすことだけをしていて、その良し悪しまで考える時間がないと思います。新しい指導要領でも子どもの育て方は変わらないはずです。一人ひとりの子どもたちをどうするか、その積み上げがクラスです。表面だけでなく一人ひとりの個人が取り残されないように子どもたちと向き合う教育をしないと、事件を起こすケースも出てきます。一人ひとりの子どもの課題について、私の現役の時はみんなで考えていました。今は、タブレット学習や研修会をどうするかなど目の前のことに追われていると感じます。これについては、行政でも考えていかなければならないと思います。子どもたちの生きる力を育むことを、学校全体の方針にしないと大変なことになってしまうのではないかと危惧しています。

委員

先生の立場で見ておられますが、子どもの立場から見たほうが答えは簡単だと思います。私の子どもの頃は、先生に教わるより友人から教わることに役に立ったように思います。

子どもたちをもっと信じて、子どもたちの繋がりの中で学ぶという仕組みを作っていくことがよりよい教育に繋がると思います。子どもたちが周りの子どもたちにも気を配れるような教育方針を打ち立てて進めていくと色々な問題が解決するように思います。

私自身、分数がわからない時に友人から教わり、理解できた経験があります。

最近、子どもたちの密なつきあいが減ってきているのではないかと考えています。

このことも頭にいれながら考えていただいたら、よくなっていくのではないかと思います。

教育長

校長会等で、今回のご意見はお伝えします。

他にございませんでしょうか。

ないようですので、以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

これをもちまして、令和5年大山崎町教育委員会7月定例会を閉会いたします。

大山崎町教育委員会会議規則第17条第2項の規定により、ここに署名する。

令和5年7月25日

教 育 長 署 名 _____

教育長職務代理者 署 名 _____

委 員 署 名 _____

委 員 署 名 _____

委 員 署 名 _____

書 記 署 名 _____